

南極を知る 南極の氷をかじる

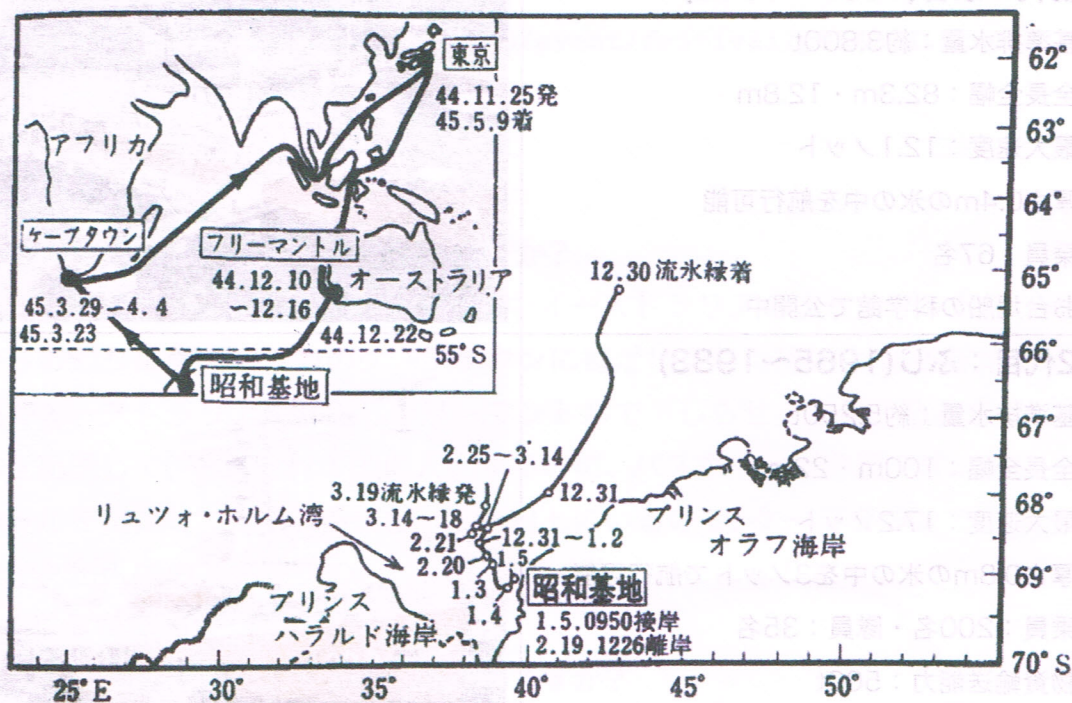
『南極観測隊・記録フィルム 上映会』鑑賞のしおり

この記録フィルムは、滝山団地3街区にお住まいで、現在管理組合の理事もされている千葉平八郎氏が、東大地震研究所の職員をされていた時、31歳で越冬隊員として南極に行かれたフィルムを基本にしています(受け持ち調査は、地球物理担当：潮汐連続観測等、意味は千葉さんご本人にきいてみましょう)。

第11次日本南極越冬隊

第11次日本南極越冬隊は、1969年(昭和44年、滝山団地が出来た年です)11月25日に南極観測船「ふじ」で東京港を出港し、12月31日に昭和基地の北約30カイリ(=55.56km)の定着氷縁(海岸に接して形成された定着している海氷の縁)に到着しました。

1月2日第1便が基地に飛び、輸送、建設が開始されると共に、「ふじ」は更に基地への接近を試み、1月5日オングル島に接岸しました。



第11次支援行動「ふじ」航跡図

(昭和44年11月25日-昭和45年5月9日)